

(単位: %)

比率区分	説明	伯耆町の比率		早期健全化基準	財政再生基準
		22年度	21年度		
実質赤字比率	一般会計等の実質赤字額、標準財政規模(人口、面積等から算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対する比率	— (赤字なし)	— (赤字なし)	14.91	20.0
連結実質赤字比率	町全体での実質赤字額(または資金不足額)の、標準財政規模に対する比率	— (赤字なし)	— (赤字なし)	19.91	40.0
実質公債費比率	町全体の公債費などの、標準財政規模に対する比率(18%を超えると借入するために許可が必要となる) 【過去3ヶ年平均】	15.8	18.1	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率	60.2	73.6	350.0	

3. 健全化判断比率

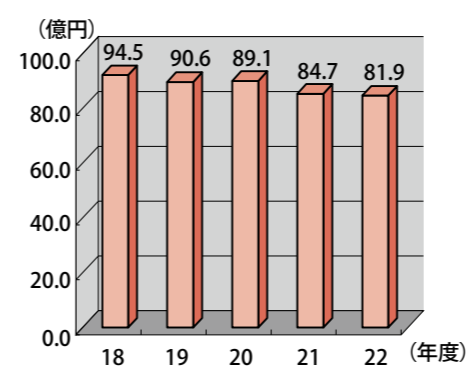
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成22年度決算に係る健全化判断比率の算定結果をお知らせします。

各比率は地方公共団体の財政の健全性を表しており、伯耆町はいずれの比率も健全段階に位置しています。また、いずれの比率も前年度に比べて改善が図られおり、実質公債費比率は、返済ピークを過ぎたことなどによって、当面の目標であった18.0%を下回りました。しかし、依然として公債費負担は高く、今後は簡易水道事業会計の返済金が増えるなど厳しい状況にあるため、引き続き適正な公債費管理が必要です。

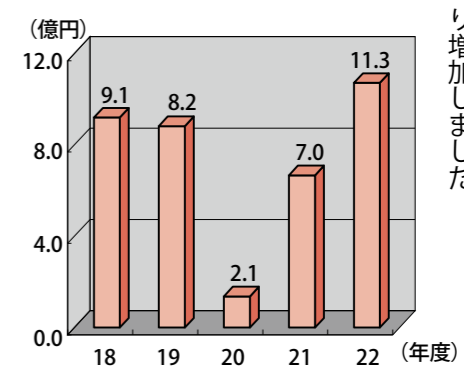
3. 健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成22年度決算に係る健全化判断比率の算定結果をお知らせします。

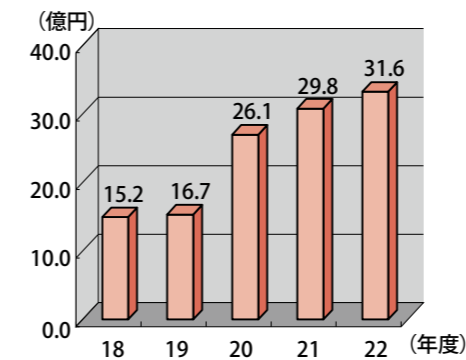
各比率は地方公共団体の財政の健全性を表しており、伯耆町はいずれの比率も健全段階に位置しています。また、いずれの比率も前年度に比べて改善が図られおり、実質公債費比率は、返済ピークを過ぎたことなどによって、当面の目標であった18.0%を下回りました。しかし、依然として公債費負担は高く、今後は簡易水道事業会計の返済金が増えるなど厳しい状況にあるため、引き続き適正な公債費管理が必要です。



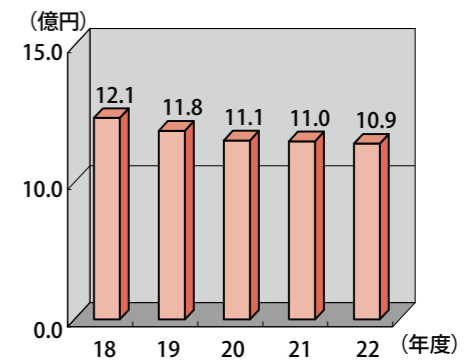
地方積(借金)残高の推移
借入の抑制や、借入金の上返済(約8千万円)などによって減少傾向にあります。
【町民1人あたり69.7万円】



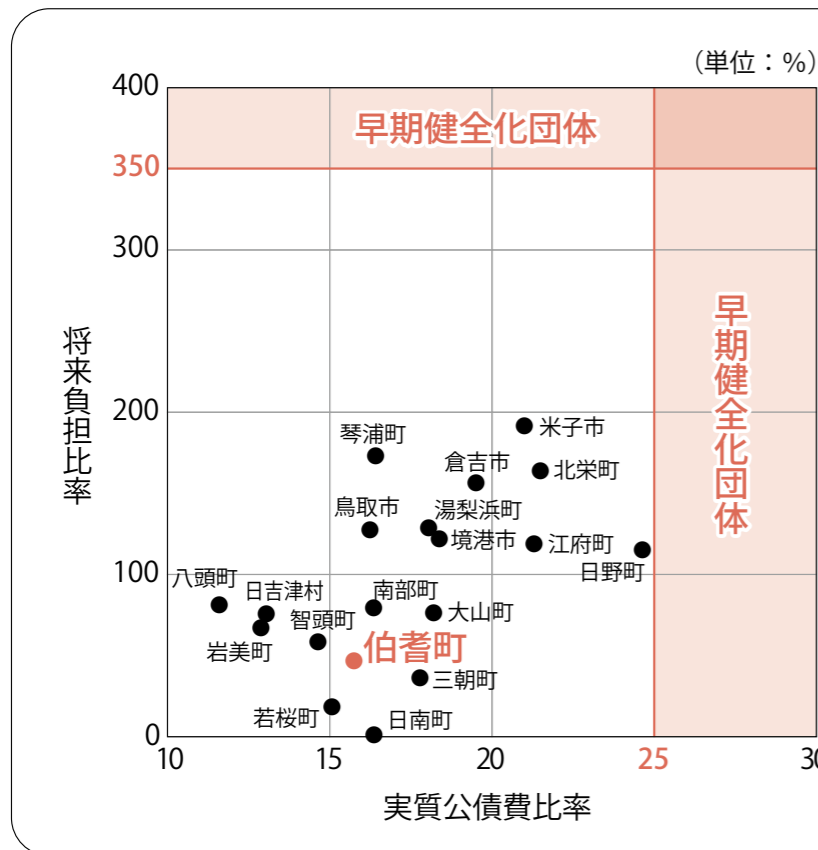
建設事業費の推移
大型建設事業(岸本公民館改修、岸本小学校体育館耐震改修)や経済対策事業の実施により増加しました。



基金(貯金)残高の推移
災害などの緊急的な財政負担に備えた財政調整基金への積立(約9千万円)などによって増加しています。
【町民1人あたり26.9万円】



人件費の推移
職員給料カットの継続実施や職員数の減(退職など)によって減少傾向にあります。



平成22年度県内市町村の状況

このグラフは鳥取県全市町村の「実質公債費比率」と「将来負担比率」の状況を表したものです。財政の健全化が進むとグラフの左下へ、悪化状態になると右上に位置します。

県内における伯耆町の順位は、(良いほうから)実質公債費比率【7位】、将来負担比率【4位】と、いずれも県内市町村の平均を上回る結果となりました。

平成22年度県内市町村の状況

2. 特別会計

町が特定の事業を行う場合に、一般会計とは区分して経理するために設けている会計です。特別会計は、保険料や料金収入などによる独立採算を原則としますが、会計によっては一定のルールなどに基づいて一般会計が負担(繰出)を行っています。

平成22年度の特別会計の決算状況は、各下水道事業会計での借入金繰上返済の実施(4億8,848万円)

(単位: 万円)

会計名	歳入	歳出	差引
町営公園墓地事業特別会計	380	100	280
住宅新築資金等貸付事業特別会計	230	3,479	△3,249
有線テレビ放送特別会計	19,740	19,740	0
地域交通特別会計	10,513	10,513	0
国民健康保険特別会計	129,637	122,449	7,188
後期高齢者医療特別会計	11,501	11,492	9
老人保健特別会計	303	67	236
簡易水道事業特別会計	17,120	15,347	1,773
小規模水道事業特別会計	1,091	638	453
丸山地区専用下水道事業特別会計	906	833	73
小野地区専用下水道事業特別会計	374	374	0
農業集落排水事業特別会計	70,877	70,877	0
小規模集合排水事業特別事業	10,115	10,115	0
公共下水道事業特別会計	27,194	27,194	0
浄化槽整備事業特別会計	2,004	2,004	0
索道事業特別会計	3,844	5,178	△1,334
合計	305,829	300,400	5,429

(単位: 万円)

伯耆町水道事業会計(企業会計)	決算額
収益的収入	7,189
収益的支出	8,097
資本的収入	1,553
資本的支出	3,125

やスキー場圧雪車の購入(3,098万円)のほか、経済対策事業の実施などによって、決算額(歳出)は全体で前年度に比べ約2億4千万円の増加となりました。また、一般会計からの繰出は、下水道事業の繰上返済などにより大幅に増加しました。(前年度比3億8,337万円増)